

九州における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：船石翔馬、灰来人（認定 NPO 法人 魅惑的倶楽部/コミュニティセンターHACO）
古賀康雅（博多区保健福祉センター）
山本政弘、南留美、高濱宗一郎（九州医療センター）

研究要旨

総計 104 キットをコミュニティセンターにおいて対面方式のみを使い配布した。アンケートに回答したものは 106 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 68 名 (65.4%) であった。そのうち 97.1% が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 6 件（既往歴も含む）であった。検体を郵送した 68 名のうち、64 名はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体を郵送者の属性については、35 歳未満が 68% を占めた。福岡県の居住者が 87.5% であった。生涯初の検査経験割合は 20% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 64% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 25% を占めた。

A. 研究目的

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、九州地域の MSM を対象に、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布と WEB にて配布を行った。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間を限定して配布し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とした。

B. 研究方法

コミュニティセンターにおいて、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイトを開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter、HACO スタッフ個人 Twitter、コミュニティセンター周辺のゲイ向け商業施設へのチラシ配布（ゲイバー、ハッテン場、ショップ

等の約 60 店舗）、スタッフ船石の 9monsters（ゲイ向けマッチングアプリ）アカウントで、ハウリングという機能を使って、今すぐ会いたい「HACO で郵送検査キットを無料配布。アンケート回答後にお渡ししています」と投稿した。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。その際にはオリジナルのガイダンス用資材を独自で作成して活用した（資料 1、資料 2）。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1. 郵送検査キットの配布日・概要

第 1 弾

2020 年 12 月 14 日～12 月 26 日のコミュニティセンターオープン日（木、金、土、日、月、祝日）（月曜は通常オープン日ではないが、スタッフが対応した）。

第 2 弾

2021 年 2 月 11 日～3 月 21 日のコミュニティセンターオープン日（木、金、土、日、祝日）

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	福岡
	CBO	魁惑的倶楽部 福岡支部
	コミュニティセンター	HACO
a 配布数		104
b 受検者アンケート回答者数		106
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		68
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		65.4%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	66	(97.1%)
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）	1	(1.5%)
f 陽性数（割合 f/c）	1	(1.5%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	1.1	(1.6%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）	1	(1.5%)
h 陽性数（割合 h/c）	6	(9.0%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	2.1	(3.2%)
i 追跡可能者数；無料ID使用者数（割合 i/c）	64	(94.1%)
j 追跡可能者実数；無料ID使用者実数（割合 j/c）**	63	(92.6%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乗じて求めた。

** j)追跡可能者実数は、i)追跡可能者数から判定不能だった人を除いたもの。

*** すべての集計より再受検の重複は除いた。

2. 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 104 キットを配布した。実際にアンケートに回答したものは 106 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 68 名 (65.4%) であった。そのうち 97.1%が結果にログインしていた。

HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 6 件 (既往歴も含む) であった。検体を郵送した 68 名のうち、64 名はアンケート結果との連結に同意していた。同意を得た受検者とアンケートに回答したが受検していないと考えられる人との比較集計結果を表 2、表 3 に示した。

郵送検査の受検利用者の属性については、35 歳未満が 68.8%を占めた。福岡県の居住者が 87.5%、その他の九州地域の居住者が 9.5%であった。

これまでの検査経験がなかったものの割合は 20.3%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 64.1%であった。過去 1 年間の検査場所で最も高かったのは保健所であり、26.6%であった。

過去 6 ヶ月間の男性との性交経験は 89.8%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が 28.1%であった。3 人以上の複数人での性交経験も 21.9%であった。また過去 6 ヶ月間の PrEP の使用経験は 4.7%である一方で、コンドーム常用割合は 20.3% (男性とのアナルセックス経験者のうち、24.1%) であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをよくあるいは少し知っている人は 75.0%であった。

3. 実施しての振り返り

第 1 弾では短い広報期間、配布期間にもかかわらず、準備していた 50 セットを全て配布することができた。それを踏まえて、第 2 弾では第 1 弾より広報期間、配布期間が長いこともあり、100 セットを準備したが、全てを配布することはできなかった。

配布数の減少には、新型コロナウイルスが再流行し、緊急事態宣言が発令され、コミュニティセンターオープン時間が短縮したことも原因として考えられるが、他にも、ゲイバーに送って欲しいという問い合わせがあったことから、対面での受け渡しにこだわり過ぎたのも原因の一つと考えられる。

第 2 弾では、コミュニティセンターのオープン時間中には来館できない人のために、クローズ後に特別時間枠を設定し、予約限定で郵送検査キットも受け取れるようにしたが、期間中は 2 件しか予約はなく、特別時間枠に関しては課題が残った。

アンケートについては、だいたいの人が 5 分前後で回答していた。外国人には分かりにくい箇所があれば聞いてくださいと伝え、近くで待機していた。

説明・ガイダンスについては、経験豊富なスタッフが対応し、説明中に受取希望者が来た場合は若手スタッフが対応した。2 人の説明に差異がでないように、オリジナルのガイダンス用資料 (図 1、図 2) を作成し、それを活用して説明した。

待ち時間については、来館が集中することがなかったので待ち時間はほぼ発生しなかった。

相談については、検査キット受け渡し時の説明の際の質問や相談に関しては別途 Q&A 形式でまとめ (表 4)、すべてのスタッフが同一クオリティで対応できるようにした。

D. 考察

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、検査キットを受け取りに来ることがあった。また、保健所やクリニックでの受検経験はあるが、郵送検査は生涯初という受検者も多かった。

このようなことから、郵送検査キットの無料配布キャンペーンは感染リスクの高い MSM に対して新たな検査機会の提供になったのでは

ないかと考えられる。郵送という直接人と接することが少ない検査方法は、コロナ禍に適していると考えられた。

福岡コミュニティセンターHACO では、郵送検査キットの配布方法は、対面による受け渡しのみ実施した。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対してもその場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができた。スタッフ自身も受検者がどのような疑問を持っているかを知ることができた。

一方、コミュニティセンター来館者もいる中での受け渡しになり、受け渡しスペースとして場所は区切っていたが、限られた空間の中であったので、プライバシーへの配慮が十分ではなかったことが課題である。

E. 結論

九州地域の福岡市内で対面型の検査キット配布を実施した。初めての試みであったが、入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型で経験を蓄積しつつ、利用者の不安を軽減する取り組みを開発し、計画通りに実施できた。今後は、九州の別地域での検査機会の拡大方法も検討する。

F. 研究発表

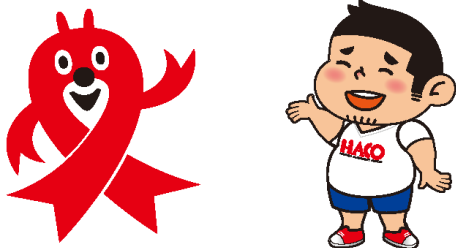
1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) Kaneko N, Shiono S, Hill AO, et al.: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan. *AIDS care*. 1-8. 2020.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

世界エイズデー
無料・匿名
郵送検査キャンペーン
at HACO



■HIVと梅毒の感染可能性が分かります！

- HIVの抗体検査と梅毒の抗体抗原検査です。

■今回使用するのは？

- アルバコーポレーション社のSTDチェッカー



■今回の検査はスクリーニング検査です

- 感染の可能性の有無を調べます。

● HIV検査の結果

● 陰性 2～3ヶ月前までは感染していません。

● 陽性 感染の可能性があるので、確認検査が必要。

確認検査：博多保健所
第2第4水曜 16：00～18：00

● 梅毒検査

● 陰性 4週間ほど前までは感染していません。

● 陽性 感染の可能性があるので、確認検査が必要。
アルバコーポレーションの案内に従って
受診してください。

■HIV/エイズについて

- エイズはHIVというウイルスに感染して起こる様々な病気の総称です。
- HIVは人の免疫細胞に感染し、免疫力を破壊していくウイルスです。
- 毎年1,300人を超える人が感染しています。
- 福岡県は特に、エイズを発症して感染が分かる人の割合が全国に比べて非常に高くなっています。
- エイズは以前は致死率が非常に高い病気でしたが、治療環境が大きく進歩し、平均余命は非感染者と変わらなくなりました。
- HIVに感染しても、きちんと治療を続ければエイズの発症を回避でき、これまで通りの生活ができます。
- 1日1回1錠の薬を飲むことで、ウイルスの活動や増殖を抑え、血液検査で検出でされないレベルに抑えることができます。
- もし感染していても、そのことを家族や会社、学校、友人などに知らせる必要はありません。
- 治療費は収入に応じて無理なく支払える金額になる、国の補助があります。
- 現在でも感染を放置してエイズを発症し、手遅れになって亡くなる人もいますので、早期発見早期治療が有効です。

■梅毒について

- 梅毒トレポネーマという細菌に感染して起こる、代表的な性感染症です。
- 2010年頃から感染者が急増しています。
- 治療しなくても症状が消えてしまう時期があるので、注意が必要です。
- 1度、感染を治療して完治していても、感染機会があれば何度でも感染します。
- 放置すると全身の臓器に障害が広がり、命に関わることもあります。
- 治療は、1日3回の服薬を症状により2～8週間行います。
- 梅毒などの性感染症に感染していると、HIVに感染しやすいと言われています。

■予防するには

HIV

- HIVは**精液と血液**にいます。
- HIVは、**粘膜や傷口に直接、大量に長時間接触**することで**感染リスク**が高まります。
- HIVは、**日常生活では感染しません。**
- コンドームを使ったセーフなセックス**で感染を防ぐことができます。

梅毒

- キスやオーラルセックスでも感染する強い感染力**があります。
- 感染部位と粘膜や皮膚が直接触れないようコンドーム**を使いましょう。
- コンドームに覆われていない部分の皮膚で感染することもあるので、**皮膚や粘膜に異常がある場合には、性的な接触は控えましょう！**

検査のポイント

■採血できる部位



■検査に失敗しないポイント

- とにかく検査の前に血行をよくしておく！**
- 入浴したり、温かいお湯などで手を温め、マッサージなどで血行をよくしておきましょう。
- ブレないように、硬いところに固定！**
- 採血するときには、ついためらって、採血に失敗することがあります。手が**ブレたりしないように机などの硬いところに手を置いて行いましょう。**
- 途中で血が止まってしまったら？**
- 途中で血が止まってしまったら、**マッサージなどで血行をよくしましょう。**

■採血は赤い線まで！



- 1枚目はHIV用、2枚目は梅毒用です！

この線まで染み込ませる

■これはNG！→→→→→

量が足りないと、検査ができない！

■不安になったら

- 結果が出るまでに、不安が大きくなってしまったら**電話相談**を利用しましょう。

福岡市博多保健所エイズダイヤル
092-441-0023
(平日9:00~17:00)

■最後に

陽性判定が出たら必ず確認検査を受けてください！

- 郵送検査はあくまでも**感染の可能性の有無**を調べる検査です。**正しい判定は確認検査**で！
- HIVと構造が似た体内のタンパク質をHIVと誤認して陽性判定が出ることもあります。
- もし最終的にHIVに感染していることが分かっても、**エイズにならずに済んだ**ということです。
- 治療によって現在の健康状態をキープし、セックスを含めたこれまで通りの生活を送ることができ、治療費の軽減を含めた多くのサポートがあります！
- 性感染症はセックスをする人なら誰でも感染する可能性**があります。コンドームを使ったセーフなセックスを心がけましょう！

■アンケートはこちら！



表2 郵送検査キット利用別 基本属性および検査行動

	アンケート回答のみ		検査利用		合計		Pearson カイ2乗	
	n=42		n=64		n=106			
年齢階級								
	24歳以下	6	14.3%	14	21.9%	20	18.9%	0.13
	25-34歳	14	33.3%	30	46.9%	44	41.5%	
	35-44歳	14	33.3%	10	15.6%	24	22.6%	
	45歳以上	8	19.0%	10	15.6%	18	17.0%	
国籍¹⁾								
	日本	40	95.2%	60	93.8%	100	94.3%	1.00
	海外	2	4.8%	4	6.3%	6	5.7%	
居住地								
	兵庫県	1	2.4%	0	0.0%	1	0.9%	0.31
	山口県	0	0.0%	2	3.1%	2	1.9%	
	福岡県	38	90.5%	56	87.5%	94	88.7%	
	佐賀県	1	2.4%	3	4.7%	4	3.8%	
	熊本県	0	0.0%	1	1.6%	1	0.9%	
	大分県	0	0.0%	1	1.6%	1	0.9%	
	鹿児島県	2	4.8%	0	0.0%	2	1.9%	
	沖縄県	0	0.0%	1	1.6%	1	0.9%	
性別²⁾								
	男性	41	97.6%	64	100.0%	105	99.1%	0.40
	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	1	2.4%	0	0.0%	1	0.9%	
セクシュアリティ								
	ゲイ（男性同性愛者）	34	81.0%	52	81.3%	86	81.1%	0.45
	バイセクシュアル（両性愛者）	7	16.7%	12	18.8%	19	17.9%	
	ヘテロセクシュアル（異性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	決めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	レズビアン（女性同性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	1	2.4%	0	0.0%	1	0.9%	
居住形態								
	独居	23	54.8%	38	59.4%	61	57.5%	0.69
	同居	19	45.2%	26	40.6%	45	42.5%	
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
これまでのHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	33	78.6%	51	79.7%	84	79.2%	1.00
	ない（今回が初めての検査）	9	21.4%	13	20.3%	22	20.8%	
過去1年のHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	15	35.7%	23	35.9%	38	35.8%	1.00
	ない	27	64.3%	41	64.1%	68	64.2%	
過去1年の受検場所³⁾（複数回答）								
	保健所	8	19.0%	17	26.6%	25	23.6%	0.48
	病院/クリニック	1	2.4%	2	3.1%	3	2.8%	
	郵送検査	6	14.3%	4	6.3%	10	9.4%	
	その他	0	0.0%	2	3.1%	2	1.9%	
過去6カ月間の利用施設（複数回答）								
	ゲイバー	27	64.3%	30	46.9%	57	53.8%	0.11
	ゲイイベント	6	14.3%	9	14.1%	15	14.2%	
	ゲイショップ	6	14.3%	5	7.8%	11	10.4%	0.34
	有料のハッテン場	13	31.0%	20	31.3%	33	31.1%	
	野外のハッテン場	2	4.8%	4	6.3%	6	5.7%	1.00
	いずれもない	11	26.2%	28	43.8%	39	36.8%	

1) 海外の内訳は、アジア；台湾、ベトナム、 欧米；アメリカ。

2) その他は、ジェンダーフリーと回答。

3) 病院/クリニックは、病院、クリニック、診療所、医院など。その他には公的な検査機関、コミュニティセンターでの検査、イベントでの検査、海外の医療機関が含まれる。

表3 郵送検査キット利用別 性行動および予防行動

	アンケート回答のみ n=42		検査利用 n=64		合計 n=106		Pearson カイ2乗
男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？							
よく/少し知っている	32	76.2%	48	75.0%	80	75.5%	1.00
全く/あまり知らない	10	23.8%	16	25.0%	26	24.5%	
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	66	80.5%	53	89.8%	119	84.4%	0.24
ない	16	19.5%	6	10.2%	22	15.6%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）							
彼氏や恋人	14	33.3%	10	15.6%	24	22.6%	0.06
友達やセクフレ	24	57.1%	40	62.5%	64	60.4%	0.69
その場限りの相手	19	45.2%	25	39.1%	44	41.5%	0.55
過去6カ月間のインターネットやSNS、アプリを使って出会った人とのセックス経験							
ある	28	66.7%	44	68.8%	72	67.9%	0.84
ない	14	33.3%	20	31.3%	34	32.1%	
過去6カ月間のハッテン場でのセックス経験							
ある	12	28.6%	18	28.1%	30	28.3%	1.00
ない	30	71.4%	46	71.9%	76	71.7%	
過去6カ月間の複数人（3人以上）でのセックス経験							
ある	8	19.0%	14	21.9%	22	20.8%	0.81
ない	34	81.0%	50	78.1%	84	79.2%	
過去6カ月間の相手にお金を払ったセックス経験							
ある	1	2.4%	3	4.7%	4	3.8%	1.00
ない	41	97.6%	61	95.3%	102	96.2%	
過去6カ月間の相手からお金をもらったセックス経験							
ある	1	2.4%	1	1.6%	2	1.9%	1.00
ない	41	97.6%	63	98.4%	104	98.1%	
過去6カ月間のセックス時のドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）使用経験							
ある	0	0.0%	1	1.6%	1	0.9%	1.00
ない	42	100.0%	63	98.4%	105	99.1%	
過去6カ月間のアナルセックス時のコンドーム使用							
非常用	30	71.4%	41	64.1%	71	67.0%	0.43
常用	9	21.4%	13	20.3%	22	20.8%	
過去6ヶ月間にない	3	7.1%	10	15.6%	13	12.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」認知							
知っている	27	64.3%	42	65.6%	69	65.1%	1.00
知らない	15	35.7%	22	34.4%	37	34.9%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用意図							
服薬したくない/どちらかといえば	7	16.7%	14	21.9%	21	19.8%	0.80
服薬したい/どちらかといえば	20	47.6%	28	43.8%	48	45.3%	
知らない	15	35.7%	22	34.4%	37	34.9%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用経験							
ある	1	2.4%	3	4.7%	4	3.8%	1.00
ない	41	97.6%	61	95.3%	102	96.2%	
性感染症既往（複数回答）							
梅毒	6	14.3%	4	6.3%	10	9.4%	0.19
A型肝炎	0	0.0%	1	1.6%	1	0.9%	1.00
B型肝炎	2	4.8%	1	1.6%	3	2.8%	0.56
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
クラミジア	7	16.7%	7	10.9%	14	13.2%	0.40
尖圭コンジローマ	2	4.8%	2	3.1%	4	3.8%	0.65
淋病	1	2.4%	1	1.6%	2	1.9%	1.00
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
毛じらみ	16	38.1%	12	18.8%	28	26.4%	0.04
性器ヘルペス	1	2.4%	0	0.0%	1	0.9%	0.40
その他	2	4.8%	1	1.6%	3	2.8%	0.56
いずれもない	18	42.9%	42	65.6%	60	56.6%	0.03

表4 郵送検査キット配布時の受検者からの質問と対応事例

	質問内容	対応例
1	いつ結果が分かるのか？	検体が郵送検査会社に到着した後の1～3日後の21時には確認できるので、到着までの期間（土日を除く）+1～3日を考えて、約1週間後には確認できる。
2	（検査を受ける前に）家に何か送られてくることはないのか？	結果は、インターネットで確認するだけなので、郵便物等が送られてくることはない。
3	事前に郵送検査会社のサイトで利用者登録のようなものが必要なのか？	申込書に記入して送付するだけで、事前登録は必要なく、結果確認の時にIDとパスワードでログインするのみに回答。
4	2つ入っているランセットはHIVと梅毒の血液を取るときに、それぞれ使う必要があるのか？	1つで両方採血して構わないと回答。
5	ろ紙に血液を付けるとき、ろ紙の表面をこすって塗りつけていいのか？	ろ紙に先端に血玉を付けて、染み込ませると回答。
6	ランセットでうまく行かなかった場合には、自宅にあるマチ針などを使ってもいいのか？	雑菌が付いている危険があるので、2つともうまくいかなかったら、郵送検査会社のサポートに連絡するようにと回答。
7	どうして自然乾燥しないといけない？	濡れたままパッケージをたたむと雑菌が付く恐れがあり、ドライヤー等を使うと変質する可能性があるかと回答。
8	使っていないランセットはどうすればいいか？	一緒に送る。
9	ろ紙を乾燥させると菌やウイルスが死んで検査ができないんじゃないか？	残骸（タンパク質）で検査できます。
10	痛いですか？	傷をつけて出血させる検査なので、多少は痛みがある。
11	過去に梅毒に感染した経験があるので、抗体を持っていると思うが、陽性と出た場合にはどう捉えたらよいか？	梅毒は抗体を持っていても、感染機会があれば何度でも感染するので、確認検査が必要。
12	HIVだけの検査はできないのか？	梅毒の感染者の多くはHIVにも感染していることから、今回は両方を調査し検査しているので、片方だけの検査はできないと回答。
13	梅毒は、自分で感染したと分かるのか？	梅毒感染のステップを説明。第1期の性器や唇などのしこり、第2期のバラ疹などを説明。
14	感染リスクのあるセックスについて。	感染リスクが高まる行為について説明。
15	陽性が出たら、生活などどうなるのか？	HIV陽性となった場合の治療や医療費、生活について説明。
16	確認検査の際の保健所での検査の稼働状況を知りたい。	HACOのサイトでの情報をお知らせしていることを説明。ただし、事前に直接問い合わせることを推奨した。
17	アンケート内のセックスの定義が分からないので、アナルセックスだけを指すのか、他も含めるのか教えてほしい。	HIVはアナルセックスだけではなく、フェラチオでも感染することもあり、また梅毒は挿入を伴わないオーラルセックスでも感染するので、オーラルセックスも含めた性行為と捉えてOKと説明。